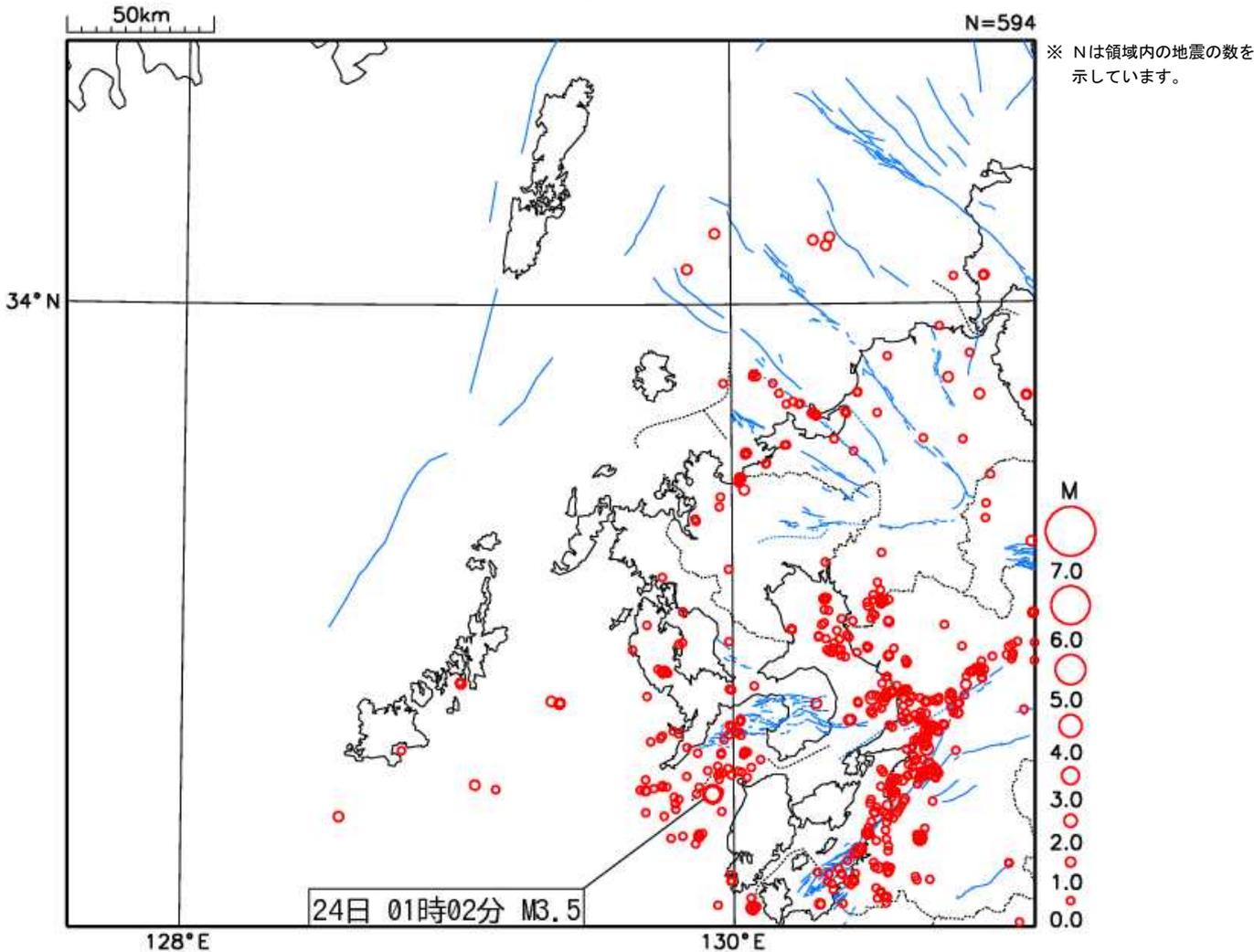


長崎県の地震活動概況 (2024年7月)

令和6年8月8日
長崎地方気象台

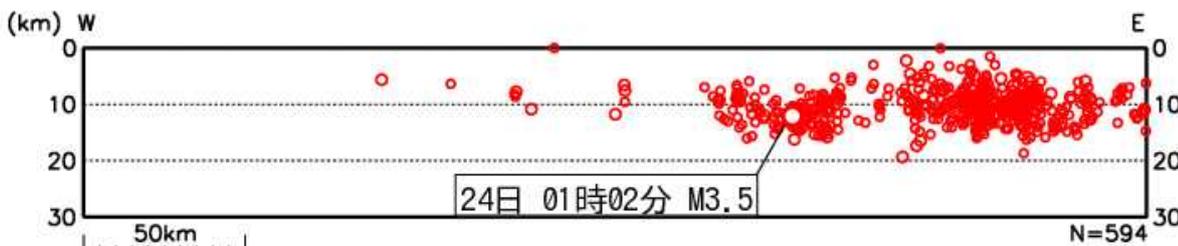
地震活動の概況 (2024年7月)

7月に長崎県内で震度1以上を観測した地震は2回でした(震央分布図領域外の1回を含む。6月は0回)。詳細は2~3ページのとおりです。



震央分布図 (2024年7月1日~31日、深さ30km以浅、M \geq 0.0)

※図中の青色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。



断面図 (2024年7月1日~31日、深さ30km以浅、M \geq 0.0)

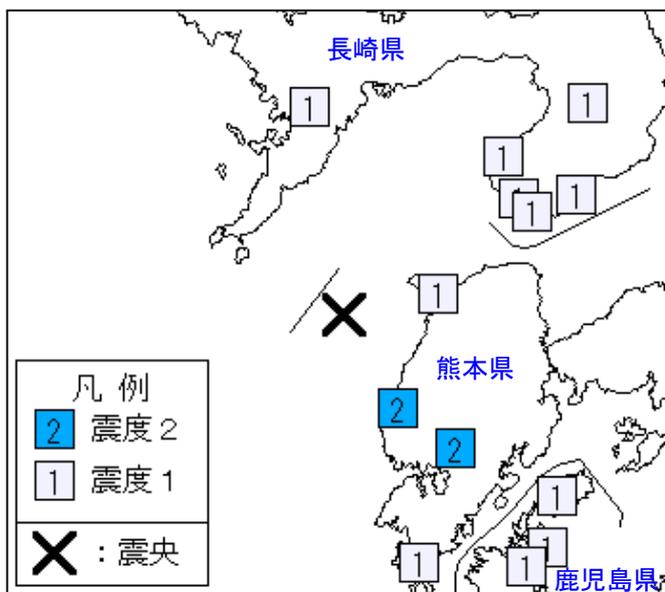
(震央分布図を南の方から見た断面図です)

※ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

天草灘

24日01時02分に天草灘で発生したM3.5の地震（深さ12km）により、熊本県天草市で震度2を観測したほか、長崎県、熊本県及び鹿児島県で震度1を観測しました。長崎県では、長崎市、雲仙市及び南島原市で震度1を観測しました（図1）。

今回の地震の震源付近（図2領域a）では、2024年4月1日にM2.5の地震（深さ14km）が発生し、長崎市で震度1を観測しました（図2、図3）。



7月24日01時02分 M3.5
図1 震度分布図（観測点別）

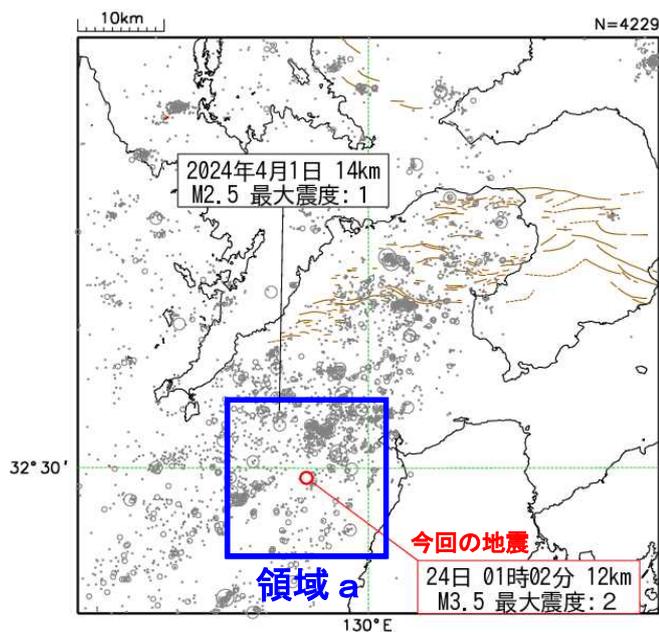


図2 震央分布図

(2000年10月1日～2024年7月31日 深さ0km～30km M \geq 1.0)

※2024年7月の地震を赤で表示。

※図中の茶色は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

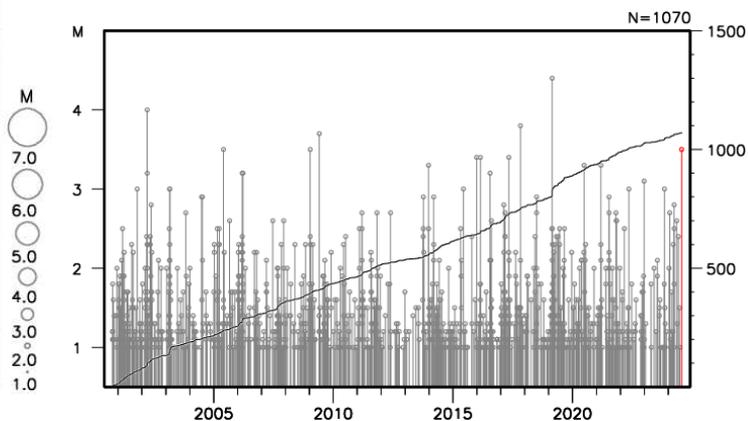
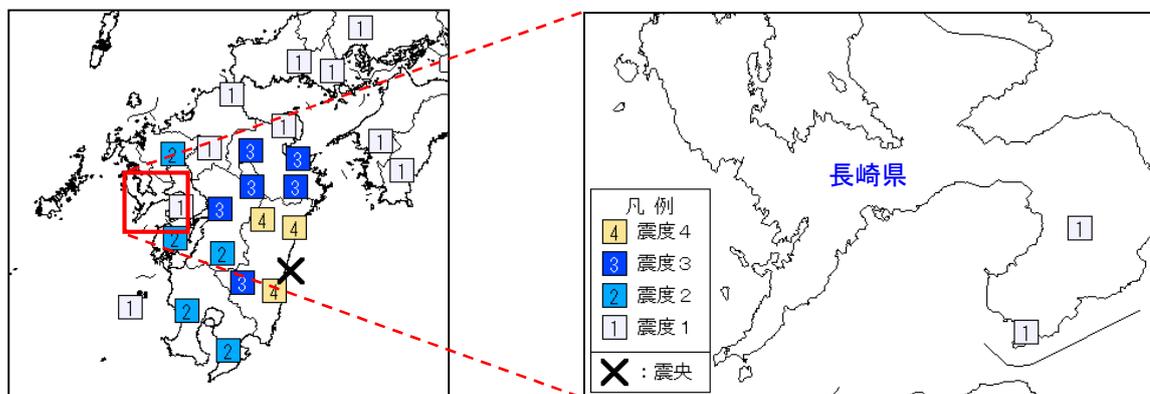


図3 図2領域a内の地震活動経過図及び回数積算図

日向灘(1頁震央分布図領域外)

30日01時25分日向灘の地震(深さ48km、M5.1)により、宮崎県の宮崎市、西都市及び高千穂町で震度4を観測したほか、九州地方、中国地方、四国地方で震度3~1を観測しました。長崎県では、雲仙市及び南島原市で震度1を観測しました(図4)。

今回の地震の震源付近(図6領域c)では、2023年7月26日にM4.4の地震(深さ42km 最大震度3)が発生し、長崎県では、雲仙市及び南島原市で震度1を観測しました(図5~図7)。



7月30日01時25分 M5.1
図4 震度分布図(左:地域別、右:観測点別)

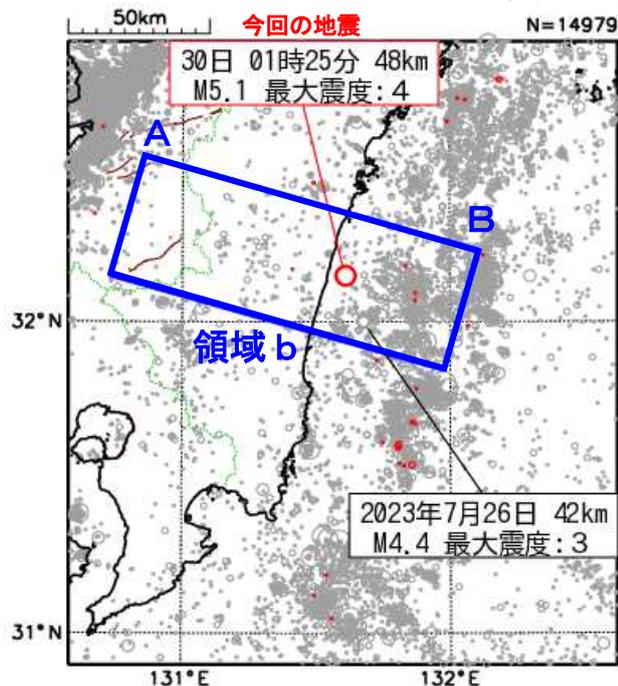


図5 震央分布図
(1997年10月1日~2024年7月31日 深さ0km~100km M≥2.0)
※2024年7月の地震を赤で表示

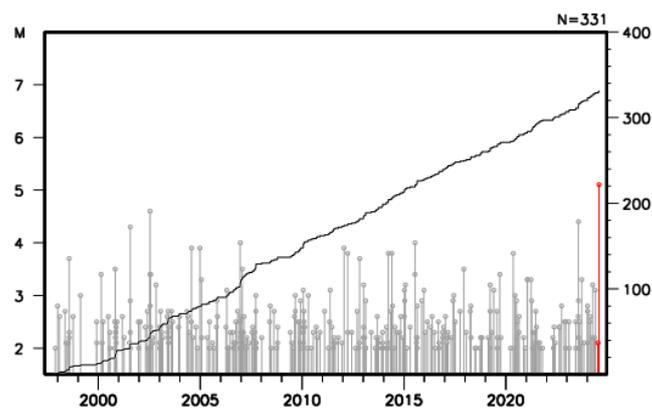


図7 図6領域c内の地震活動経過図及び回数積算図

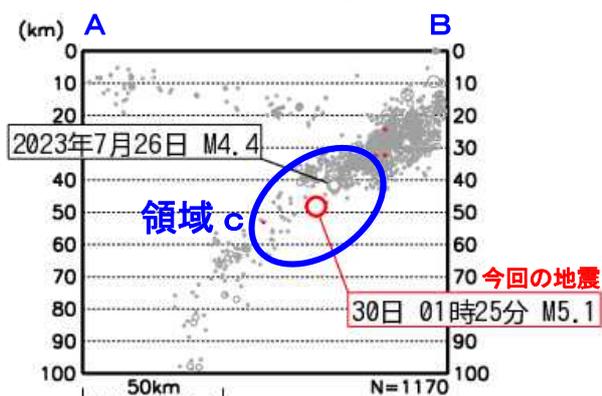


図6 図5領域b内の断面図(A-B投影)

長崎県内で震度1以上を観測した地震の表（7月1日～31日）

地震発生時刻 各地の震度	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
2024年07月24日01時02分 震度 1：長崎市元町＊, 雲仙市小浜町雲仙, 雲仙市南串山町＊, 南島原市口之津町＊, 南島原市南有馬町＊, 南島原市加津佐町＊	天草灘	32° 29.3' N	129° 55.4' E	12km	M3.5
2024年07月30日01時25分 震度 1：雲仙市小浜町雲仙, 南島原市口之津町＊	日向灘	32° 08.8' N	131° 36.6' E	48km	M5.1

注) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。
＊を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

「防災の日」と「防災週間」

～いつかくる災害に備えて～

9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」です。

本期間は、国や防災関係機関をはじめ広く国民が、地震や津波等の災害についての認識を深め、これに対する備えを充実強化し、災害の未然防止と被害の軽減に資する目的で設けられています。

この機会に、身近で起こり得る災害を再確認するとともに、日頃からの備えや大きな地震が起こった時のとるべき行動を確認するようにしましょう。

○日頃からの備え

地震への日頃からの備えには、「家具の固定や配置の見直し」「水や食料等の備蓄」「避難場所や避難経路の確認」「建物の耐震診断や耐震化」などがあります。

自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう。



○とるべき行動

地震による強い揺れを感じた時や緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずに身の安全を図りましょう。具体的な行動は周囲の状況によって異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。

地震の揺れを感じたら…

緊急地震速報を見聞きしたら…

あわてず、まず身の安全を!!

家庭では

- ◇ 安全スペースに避難
- ◇ 頭部を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難
- ◇ あわてて外へとびださない
- ◇ 無理に火を消そうとしない

屋外(街)では

- ◇ ブロック塀などの倒壊に注意
- ◇ 看板や割れたガラスの落下に注意

エレベーターでは

- ◇ 最寄りの階に停止させ、すぐに降りる

鉄道・バスでは

- ◇ つり革・手すりにしっかりつかまる

その他の行動例や緊急地震速報については気象庁のホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nc/koudou/koudou.html>